

# 白鳥児童館

白鳥児童館  
ウェブサイト▶



翠鳥園 2-9-101 ☎ FAX 072-957-4900

(月)~(土) 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

●小学生と保護者同伴の乳幼児対象

●駐車場なし

## 4月の予定

8日(木) 15:00 ~ 16:00	将棋であそぼう <b>対象</b> 小学生
13日(月) 10:30 ~ 11:00	絵本のへや (絵本・紙芝居など)
15日(水) 10:30 ~ 11:30	わくわく子育て広場「しゃぼん玉で遊ぼう」 <b>持物</b> 着替え、タオル ※雨天中止
15日(水) 15:00 ~ 16:00	みんなで遊ぼう水曜日「しゃぼん玉で遊ぼう」 <b>持物</b> 水筒、帽子 ※雨天中止
18日(土) ① 10:00 ~ 11:30 ② 14:00 ~ 15:30	ハンドメイド教室「プラバン作り」 <b>対象</b> 1 ~ 6年生 <b>定員</b> ①②各 10人 (先着順) <b>申込</b> 電話にて4月4日(日)9:00 ~ (市民に限る) <b>¥</b> 100円 (当日持参)
20日(月) 10:30 ~ 11:00	絵本のへや (絵本・紙芝居など)
25日(土) 14:00 ~ 15:00	グラウンドゴルフで遊ぼう <b>持物</b> 水筒、帽子 ※雨天中止

# 青少年児童センター

青少年児童センター  
ウェブサイト▶



向野 3-1-33 ☎ 072-952-0032 FAX 072-937-8580

●一般開放 (体育館・運動広場・学習室)

(月)~(土) 13:00 ~ 17:00 ※祝除く

春休み期間 9:00 ~ 17:00 (4月4日(日)は 13:00 ~ 17:00)

## 4月の予定 (教室の申込は電話・窓口で受付)

子ども広場「将棋教室」~初めての人・やってみたい人は気軽に参加ください~ <b>とき</b> 18日(土)・25日(土) 15:00 ~ 16:30 <b>対象</b> 市内在住・在学の小学生 ※開催日変更の場合あり	
おもしろ教室「こいのぼり飾り」 ~トイレットペーパーの芯を使って、つりさげタイプのこいのぼり飾りを作ります~ <b>とき</b> 11日(日) 10:00 ~ 11:30 <b>対象</b> 市内在住の3歳以上の幼児と小学生(1年生まで保護者同伴) <b>定員</b> 先着 15人 <b>¥</b> 200円 <b>持物</b> トイレットペーパーの芯・筆記用具・はさみ・のり <b>申込</b> 4月1日(日)9:30 から電話受付	
子育てセミナー「親子体操」~親子で楽しくスキンシップ~ <b>とき</b> 18日(土) 10:30 ~ 11:30 (受付 10:00 ~) <b>場所</b> 体育館 <b>対象</b> 市内在住の就学前の子どものと保護者 <b>内容</b> マット・ボール運動・トランポリンなど <b>持物</b> 体育館シューズ (参加者全員) <b>¥</b> 100円 (一家族) ※申込不要、当日直接お越しください。	



# サラダボール

近年の技術革新により、日常がより便利で豊かになってきたと感じています。その一つがインターネットであり、インターネットを通して世界中の人々とつながることができるようになりました。私もその恩恵を受けている一人で、ネイティブの方にオンラインで英会話を学んでいるのですが、あるときのレッスンでフィリピンの先生と学校給食について話す機会がありました。日本では栄養バランスのとれた給食が提供されるのはもちろんのこと、季節や文化も献立に反映されていることを伝えました。フィリピンでは学校給食

の提供がない現状を話され、日本の給食の制度は子どもの成長のことがよく考えられていると感心されていました。また、そもそも学校に通いたくても通えない子どもたちがいる状況であるとも話されました。その大きな理由として、保護者の経済的困窮の問題が背景にあるため、なかには親とともに働かなければならない子どもがいるということでした。学校に通い、給食を食べ、友達と過ごすことは、私にとっては当たり前の日常でした。しかし、世界には私にとっての当たり前が享受できない子どもたちがいることを教えられ、心が痛みました。私は、技術の進歩によって世界は便利で豊かになっていると感じていまし

たが、その一方で、その豊かさの恩恵を受けることができず、貧困に苦しみ、教育を受けることすら難しい人々がいるということまでは目が向いていませんでした。教育を受けることや十分な食事をとることは、生きていくうえで欠かせないものであり、基本的人権の一つです。しかし、国や地域、家庭の状況によって、その基本的人権が十分に尊重されない厳しい現実が今もなお存在しているということを決して忘れてはならないと強く感じました。技術によって世界がつながった今だからこそ、世界中の人々が連携し、よりよい未来を築いていける社会になることを願っています。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうきかい  
羽曳野市人権啓発推進協議会